

第1回 白子町振興審議会議事録（要旨）

【日時】

令和5年7月6日（木）13:30～15:10

【場所】

白子町役場 2階第2会議室

【出席者】

○振興審議会委員

酒井良信委員、鶴岡一宏委員、秋葉広行委員、河野洋平委員、篠崎昌治委員、森伸也委員
細谷啓子委員、阿比留勝利委員、芹澤豊委員、中村泰子委員

○白子町長

石井和芳

○事務局

大矢務企画財政課長、大塚嘉一企画財政課長補佐、加藤孝行企画政策係長

【次第】

1. 開会
2. あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 振興審議会の運営について
5. 会長及び副会長の選任について
6. 諮問について
7. 審議事項
 - (1) 旧白子町営国民宿舎白子荘跡地及びアクア健康センター等整備計画の策定について
 - (2) 整備イメージ（案）及び今後の事業スケジュールについて
8. その他
9. 閉会

【資料】

- ・旧白子町営国民宿舎白子荘跡地利用等の利活用に関する基本構想（案）
- ・旧白子町営国民宿舎白子荘跡地利用等の利活用に関する基本構想策定業務実施報告書

【議事要旨】

1. 開会
大塚企画財政課長補佐より開会の言葉
2. あいさつ
白子町長よりあいさつの言葉
3. 委嘱状交付

4. 振興審議会の運営について

大塚企画財政課長補佐より説明

5. 会長及び副会長の選任について

芹澤会長、鶴岡副会長が選任される。

6. 諮問について

大塚企画財政課長補佐より説明

白子町長から芹澤会長へ諮問書の提出をした。

7. 審議事項

(1) 旧白子町営国民宿舎白子荘跡地及びアクア健康センター等整備計画の策定について

事務局：内容説明、資料が多いので意見交換のような形で進めたい。

整備イメージの下に映えスポットなどが載っているが、俳人の前田普羅さんの私碑がある。既に関係者の方にとっては聖地となっていて、観光されている方もいる。

先日、千葉財務事務所・県自然保護課には現状を説明し、意向を伝えてきたが、イメージが粗いので、今後内容を詰めて課題を解決していこうという話になっている。実際何をやるかを詰めていって皆さんに情報提供していきたい。白子荘の解体、アクア健康センターのリノベーションのための調査、国県の手続き、皆さんとの協議の場を同時並行でやっていくので、スケジュールも難しいが、最大限調整をしていきたい。

委員：意見交換というと、具体的な例として、釣り堀やジムが欲しいといった要望でも良いか？

事務局：施設区分の関係があるので設置できるかは分かりませんが、案としてあっても良い。

近くに造れるかななども含めて、意見を出して頂きたい。

委員：アクア健康センターの建物は撤去せずに残すのか？

事務局：残す方向で考えているのは事実です。耐用年数があるので、使用できるか躯体調査をします。

その結果によって長期の使用に耐えられないという結果であれば別途考えます。今年度、これから調査を実施します。

副会長：審議のために、アクア健康センター閉館の理由を事前に確認しておきたい。

事務局：一言でいうと、赤字体質から脱却できなかったことです。一般会計からの繰り入れが多く、経営困難であった上、砂風呂のボイラーが故障し高額な修繕費が捻出できなかった。事前に修繕のための積み立てを行っていませんでした。また、目玉である砂風呂の集客力が弱くなった。人件費の削減を図り、経営改善しようとして、指定管理者制度を活用し、しばらくは経営したが、休館に至りました。

国県も閉館に至った経緯を知っており、同じ轍は踏まないようにします。

国からは、今後も無償貸付ということで、長く使ってもらえればと言われていています。

副会長：町民はいろいろ町の状況を知らないといけないと思う。例えば、勉強会を開くなりして、小学校の統廃合や庁舎の建て替えなど、あらゆる角度から情報をお知らせしたほうが良い。施設整備に費用がかかることを理解してもらい、そのことによって町民の負担が増えることや、我慢を強いることもあるので、それをきちんと説明しないといけない。そうしなければ町民の正しい意見は出てこない。また、財政推計を示すなどしてもらいたい。

委員：再整備計画のゴールはどこまでか？例えば、構想であっても規模の概略や事業費の概算、管理運営方式、構想レベルの収支までまとめるのか？

事務局：整備計画は地方創生の交付金申請に使用できる程度をイメージしています。財政推計やマー

ケティング等詰めていくうえで必要であるが、今のところ材料不足です。コンサルタントに入ってもらい、総合プロデュースできる事業者や人材も探しています。PFIの手法をやったことがないので、指導していただけるアドバイザーを探している。これから数か月でできるのかどうか。しっかりやらなければならない。

委員：かなり詰めていく必要がある。審議会で行くつかの論点を中心に成案にするか。この検討は今年度で方針にもっていくか。

事務局：千葉県のパーク審議会にかけるのも、時間がかかる。

令和7年には工事を開始したいが、分からないことも多く、読めないところは感じています。

委員：自然公園関連の手続き関係を含めて、動きながら、検討課題を洗い出して行くのか？成案を得るとして。アイデアを出したから良い訳ではないので、ワーキングと議論が必要だろうと考える。許認可の問題と併せて、毎回論点を絞った整理をした方が良い。内容が決められていないと意見を言う側も難しい。

事務局：資料の整備イメージ案ですが、この内容で国県にも見せています。施設区分でRVパークが野営場として認められるかによって、方針を決めていくことになります。各事業費が具体的にになってくれば、積み上げていくことになる。一度に全てを示すことは難しい。

委員：A3資料（配置図）が素案なのか？

事務局：資料の整備イメージは町が考えるイメージ案です。

委員：構想案か、町の案か？

事務局：町としての案です。そのご認識で大丈夫です。

委員：31ページのPFIの表記が違うので修正をお願いしたい。

委員：RVパークはオートキャンプ場とは異なるか？

事務局：若干違います。火を使用しない。テントを使用しない。原則として車で完結します。トイレや公衆浴場があるなどの条件があるので、トイレや公衆浴場は、アクア健康センターをリノベーションして設置したいと考えている。

委員：RVパークは流行りか？

事務局：流行りです。固定客もいます。キャンピングカーを保有できる資本力のある方も多いので、消費も効果が見込める層だといわれています。

委員：今回の整備の対象範囲は自然公園の一部であるが、それ以外の部分一切整備しないのか？一時的に検討していくのか？敷地全体を考えた方が良いのではないか。

事務局：今回の計画は、国から無償貸付を受けている土地の整備のみです。

実施報告書の18ページに説明がある無償貸付契約のエリアです。無償契約となる条件の範囲で整備を進めている。

自然公園内は、法や計画の制限がかかっており、簡単には整備できないが、長期的にはげんき君パークなども併せて整備するよう考えていきたい。

委員：利用者のターゲットの年齢層は若い人か？40歳より若いイメージですか？

事務局：スケートボードは若年層向け、パデルやRVパークは幅広い年齢層が利用するよう検討している。テニスコートやサッカー場よりも狭い面積で整備できて、維持管理の費用も少額ですむものを考えています。海が近いので砂が積もると思うが、維持管理にお金のかからないものが良いかなと考えています。ある程度幅広い世代を対象として考えています。

サイクリストも多く、敷地の前に自転車道路があるので、サイクリングで寄れるような駐輪

所を設置した休憩所として整備しようと考えています。

委員：このイメージ案には白子町らしさがないと思う。白子の良さは、手を加えられていない自然であり、何も無いところが良い。一宮町は湘南の二番煎じのような感じがします。この案はありふれていると思う。

ウミガメが産卵する場所や、自然のままの砂浜があり、ハマヒルガオがあるなど、あえて人工的なものを造らなくても良いのではと思う。時代はSDGsやネイチャーが流行っている。ありのままの自然を見せる公園などが良いと思う。子供たちが豊かな自然を感じる方が良いのではないか。自然を壊さず長く持続するものが良いのかなと思う。

事務局：何も手を加えない方が良いとのご意見を耳にすることもあります。いろいろな意見があっても良いと思います。しかし、何も無い環境で観光客などが来てくれれば良いが、絶対数が少ないと思われるので、訪れた人がこのロケーションが良いと思うような、自然と融合した施設を整備したい。

RVパークなどの人気が続くかわからないが、この好立地を活用し、白子町に来るきっかけのひとつにしたいと思っています。

会長：町民のコミュニティーの場になってもらい、元気のある白子町を目指したいと個人的には思います。

委員：パデルというスポーツはあまり聞いたことがない。新しいスポーツができて、その後流行っているというのはあまり聞いたことがない。テニスコートが被るから駄目ならば、フットサルはどうか？

事務局：フットサルは町内に民間施設で2コートあります。

パデルは欧米で流行っており、テニスコートよりも小さい面積でできるのがメリットです。テニスに似た競技であり、比較的簡単にできるので、テニスの町として、新しいコンテンツとなるパデルコートを2面くらい作ってみてどうかと考えています。そしてスケートボードを隣に作ってみて、興味を持ってもらえるよう検討しています。

委員：パデルの利用者がいなかったら、テニスコートに転用するのか？

事務局：転用は考えていない。今世界的には流行っているスポーツであり需要はあると見込んでいる。

委員：住民が使えるテニスコートが町にあるのか？

事務局：生涯学習用のテニスコートが白子中学校に隣接して整備してあります。

委員：津波対策の視点から考えると、有料道路の海側に建築物を作ることをどのように考えているか。公園にする方が良いのではないか。

アクア健康センターは、長生村に太陽の里ができて来場者が減った経緯もあるし、整備に費用がかかるが、再整備するにあたりどのように考えているか。

以前400m陸上トラックをつくりたいと話していたが、どこに作る予定なのか？

事務局：古所インターチェンジの南側の野球場の周辺です。

委員：RVパークも良いと思うが、他にもできているので、2番3番煎じになってしまう。

災害対策をどのように考えているか？

会長：アクア健康センターを再整備するにあたり防災機能を備える。津波の高台にボルダリングのできるものをつくるなども考えられます。

賛否両論議論できることは良いことである。

委員：どのような整備をするにしても、最後は町が決めることである。いろいろな人の意見を聞いて

てもしょうがない部分もある。やりたいなら協力してくださいという形もいいと思う。

副会長：旧白子荘の解体費用の予算は国から補助があるのか？

事務局：およそ1億円の予算を組んでいます。観光庁の地域の高付加価値事業の補助に応募しているが、歳入は後付けなので、予算上は単費で計上しています。

将来のことを考えると箱モノは難しいと感じます。

委員：海が見える展望台は整備する予定があるか？

事務局：アクア健康センターの1階部分が砂風呂となっている上部を展望スペースとして考えており、面積は広く取れる見込みです。海が一望できて、津波から避難できる機能も考えています。

委員：古所の旧白子荘とアクア健康センター周辺は、中里地区の観光の先駆けであり、アクア健康センターも当時は先進的な建物であった。

以前、荊金海岸にはラクダの国があった。同じようにウミガメや自然との関連があるような施設が良いと思う。

事務局：古所海岸や荊金海岸の自然公園は白子町の観光発祥の地である。

ラクダの国では、ラクダを3頭飼っていた。

その後、跡地に県がプールを整備し、現在はウミガメの丘を造成してある。

ラクダの国や白子荘の建設は、県の条例制定以前である。自然公園に関する条例や計画が後からできて、自由に整備できなくなった。

○その他

次回以降の審議会の開催について

大塚企画財政課長補佐から説明（今後のスケジュールほか）

委員：要望ですが、今後の資料は提案理由を明確にして頂き、論点をいくつか出して頂きたい。

ポイント等論点があった方がよい。需要があるかとかにより改善するという意見が出てくるので、背景も含んで資料を出して頂きたい。

5. 閉会

大塚企画財政課長補佐より閉会の言葉